

<一般委託>

版画ワンダーワールド展会場施工業務委託(一般委託)仕様書

版画ワンダーワールド展会場施工業務委託に基づく内容は、本仕様書の定めるところによる。

1	目的	版画ワンダーワールド展(会期:令和元年11月16日~12月22日)での作品展示のための会場を設置するとともに、会場誘導のための案内、展覧会告知の看板などを制作、設置する。展覧会終了後の撤去業務を含む。
2	履行期間	契約日から令和元年12月27日(金)
3	施行場所	横須賀市鴨居4-1 横須賀美術館
4	業務内容	別紙のとおり
5	特記事項	作業に必要な用具類を持参すること。作業で発生した残材等の不用品は、請負側の責任において搬出し、処理すること。また作業終了後は、後片付けおよび清掃を行うこと。作業時間は原則として各日とも9:30~17:30とするが、開館時間外に行なう業務が含まれる(別紙仕様書を参照)。設置・設営位置などの詳細は担当者で打ち合わせの上、決定する。
6	資格要件	平成26年4月1日以降に、公立であるか私立であるかを問わず美術館において会場面積600㎡以上の美術展の会場施工業務の契約を元請けとして締結し、完了した実績があること。この実績を証明するため、当該契約書及び仕様書の写し(当該履行内容を記載した箇所)、並びに会場面積を確認できる図面等の資料を入札参加申請書提出期間内にファクスで送信すること(FAX046-828-3839)。送信しない場合は、入札に参加できない。
7	契約方法	総価による業務委託契約(一般委託)
8	支払方法	委託料の支払いは、業務完了後一括払いとする。
9	その他事項	この仕様書に定めのない事項及び疑義を生じた場合は、別途協議するものとする。
10	監督員 連絡先	横須賀市鴨居4-1 横須賀美術館 日野原 Tel046-845-1212/Fax046-845-1216

<指示又は希望事項>

<p>グリーン 物品購入 及び 環境配慮 関係</p>	<p>・この業務を施行するにあたって、仕様書でグリーン物品購入の指示がある場合は、横須賀市グリーン購入基本方針及び調達方針に基づく環境物品等を納入すること。また、仕様書で特に指示がない場合で委託代金に物品等の購入経費が含まれている場合は、できるだけこの方針に基づく環境物品等の調達をお願いします。 (上記方針については、本市のホームページ「よこすかのグリーン購入」参照)</p> <p>・本市は、独自の環境マネジメントシステム(YES)により事務事業の環境負荷低減に努めているので、受託者においてもできる限り環境に配慮して業務を執行するようお願いいたします。</p>
---	---

- 1 件名 版画ワンダーワールド展 会場施工業務委託
- 2 場所 横須賀美術館
- 3 会期 令和元年11月16日～12月22日
- 4 作業日程 施工(業務1、2) 令和元年11月4日18時以降または11月5日9時30分まで  
 施工・納品(業務3～7) 令和元年11月12日まで  
 撤去(業務1、2) 令和元年12月22日18時以降または12月23日9時30分まで  
 撤去・補修・廃棄(業務3～8) 令和元年12月25～26日
- 5 業務内容 各仕様は次の通りとする。(寸法はミリ単位で表記)

		数量
1 屋内看板		1枚
寸法	t10mm、貼付範囲H1000×W2500(展覧会名、会期情報など30文字程度)の切り文字	
仕様	エントランスホールの壁に切り文字を貼る。 原稿データは美術館より提供する(レイアウトデザインを起こし、校正は3回行う)。 色は指定色。 会期終了後は撤去し、壁の損傷(ピン穴、接着剤など)について補修を行うこと。	
2 入口バナー(仕様2別紙1参照)		1枚
寸法	H450×W2400	
仕様	展覧会名と入口を指示するバナーを制作し、美術館正面入口外の底部分に掲示する。 原稿データは美術館より提供する(レイアウトデザインを起こし、校正は3回行う)。 屋外用シートの両面にインクジェット出力(4色)。会期中風雨や日光によって変質しないこと。 上辺は袋縫い仕上げとし、水平性保持および取り付けのための既存の角パイプ(20×20mm)を通せるようにする。 ロープ、結束バンド等(白色)により、パイプと梁とを結束して取り付ける。梁を損傷しないよう留意すること。バンドは1箇所につき600mm程度必要。	
設営場所	美術館正面入口外の底部分	
3 のれんの製作・設置		1枚
寸法	H2500×W3000	
仕様	遮光のため展示室1の入口にのれんを設営する。 表面にデザインをおこしプリント。3ヶ所に切れ込みを入れること。原稿は美術館より提供する。 デザインレイアウトを起こし、校正は3回行う。落下等の事故が起こらないよう安全性に配慮した設置方法をとること。展示作業終了後～11月15日までに貼り付ける。	
4 あいさつパネル(大)		1枚
寸法	H900×W600	
仕様	スチレンボードにインクジェット出力(1色) データ渡しとし、デザインレイアウトを起こし、校正は3回行う。	
5 章解説パネル		7枚
寸法	H728×W515	
仕様	スチレンボードにインクジェット出力(1色) データ渡しとし、デザインレイアウトを起こし、校正は3回行う。	
6 解説パネル(大)の製作		10枚
寸法	H728×W515	
仕様	スチレンボードにインクジェット出力(4色) データ渡しとし、デザインレイアウトを起こし、校正は3回行う。	

## 7 解説パネル(小) 10枚

寸法	H250×W200
仕様	スチレンボードにインクジェット出力(1色) データ渡しとし、デザインレイアウトを起こし、校正は3回行う。

## 8 キャプション 150枚

寸法	H100×W150
仕様	スチレンボードにインクジェット出力(1色)。 データ渡しとし、デザインレイアウトを起こし、校正は3回行う。

## 9 作家略歴 20枚

寸法	H200×W150
仕様	スチレンボードにインクジェット出力(1色)。 データ渡しとし、デザインレイアウトを起こし、校正は3回行う。

## 10 斜台の製作 2カ所

寸法	展示ケース(内寸H1850×W2600×D1000)1台につき、H1500×1200のパネルを2枚使って斜台を設営する。ケースは2台使用。受けは2本制作し(W1600×D30、W1400×D30)、滑り止めとして前方にL字の透明アクリルで30mmの立ち上がりを付けること。
仕様	館備品の展示ケース内に版木(H750×W240を6枚とH750×W240を5枚)を展示するための斜台と受けを制作し、ケース内に設置する。垂木骨組み、☆☆☆☆ベニヤ(展示面は9mm以上、側面は4mm厚以上)を用いること。パネルの継ぎ目が目立たないようテープを貼付。白または灰色の鳥の子紙経師仕上げ。材料および接着剤にはホルムアルデヒド他の有害物質を発生しにくいものを使用すること。必要に応じてピンが打てること。転倒防止用透明アクリル(内側フェルト貼)を11個用意する。なお、作成前に略図を提出し、美術館の確認後に制作を行うこと。
設営場所	展示室2

## 11 受けの製作 1カ所

寸法	H600×W2400×D30の受けを製作する。滑り止めとして前方にL字の透明アクリルで30mmの立ち上がりを付けること。
仕様	版木(H1600×W240を10枚)を展示するための受けを製作し、設置する。☆☆☆☆ベニヤを用いること。材料および接着剤にはホルムアルデヒド他の有害物質を発生しにくいものを使用すること。必要に応じてピンが打てること。白色塗装仕上げ。使用する塗料は白色(日本塗装N-95[日本ペイント・N-60・エコフラット・ツヤ消し])とすること。転倒防止のため透明アクリル(内側フェルト貼)を20個用意する。なお、作成前に略図を提出し、美術館の確認後に制作を行うこと。
設営場所	展示室2

## 12 本棚の製作 8ヶ所

寸法	W250×D90、滑り止めとして前方に20mmの立ち上がりを付けること。
仕様	展示室内の壁面の低い位置に、本を立てかけるための奥行き浅い棚(8個)を製作し設置する。棚板は白木・クリア塗装仕上げ。棚受金具等は目立たないものにし、耐荷重(静止時)1kg以上とする。
場所	展示室3

## 13 仮設壁の延長(仕様2別紙2参照) 1カ所

寸法	H3000×W1600(延長部分)×D500(鉄骨)
仕様	既存の仮設壁を一部解体し、同じ場所に仮設壁を延長設営する(仕様2別紙2の図面の赤で示した部分を延長する)。美術館備品の鉄骨骨組みおよび木製パネル(H3000×W900)を利用すること。組み立て方法が不明の場合は、事前に担当者から十分な説明を受けること。また、既存の壁との接合部については、備品の木製パネルが適合しない場合があるので、必要となる部材を請負側で調達すること。また、既存壁との接合部分やパネルの継ぎ目が目立たないように、寒冷紗を貼付し、パテ調整、水性塗料を二度塗りする。使用する塗料は白色(日本塗装N-95[日本ペイント・N-60・エコフラット・ツヤ消し])とすること。
設営場所	展示室3

## 14 壁の補修

1式

仕様	会期後に、壁面のパテ埋めおよび補修、塗装を行う(日本塗装N-95)。
場所	エントランス、展示室1,2,3およびギャラリー(全部で約300箇所)

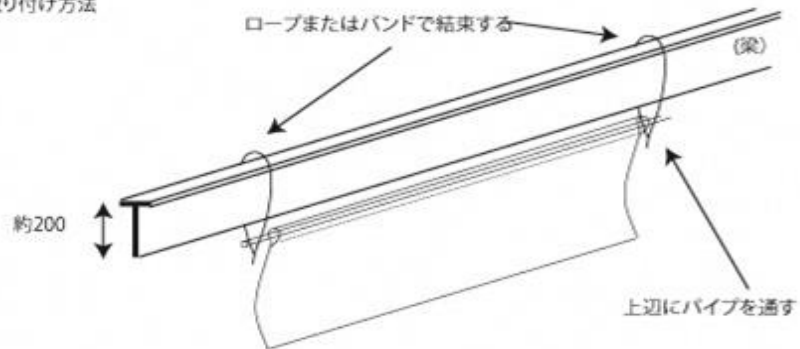
## 現場作業

- (1) 造作物などに関しては、改善点などある場合は提案し、施工図を提出の上、提案担当者との協議の後製作すること。
- (2) 展示工作作業監督者(責任者)を指名し作業期間中は作業場所に常駐させること。
- (3) 作業の範囲は、該当する箇所の造作物の制作、設置と撤去とする。
- (4) 作業に必要な機械、工具および資材は全て持参し、搬入すること。
- (5) 作業期間中は、指定場所以外における火気の使用を禁止する。
- (6) 検査をおこなう時は、当該検査に立会い、不備な箇所は直ちに手直しを行うこと。
- (7) 作業に発生した残材等の不要品は、請負側の責任において搬出し、処理すること。撤去時は指示に従い、前回展覧会で設営し、残した壁面も撤去すること。
- (8) 作業終了後は、後片付け及び清掃を行うこと。
- (9) 使用する塗料は白(日本塗工N-95)。
- (10) 接着剤は環境対応型のものを使用すること。
- (11) 現地確認希望の場合は、美術館運営課にFAXで申し込むこと。
- (12) その他不明な点は、当館担当者の指示によるものとする。

## 仕様書2 別紙1

- ・バナーを製作し、美術館正面入口外の底部分に設置する。
- ・上辺は袋縫い仕上げとし、水平性保持および取り付けのための角パイプ(20×20、支給)を通すこと。
- ・結束バンド等(白色)により、パイプと梁とを結束して取り付ける。梁を損傷しないよう留意すること。バンドは1箇所につき600mm程度必要。

取り付け方法



取り付けイメージ



仕様書2 別紙2

